

## 建設現場における遠隔臨場の試行開始について

福岡市水道局では、建設現場における働き方改革推進のため、さまざまな取組みを実施しています。その取組みの一つとして、令和3年4月1日から、水道工事の建設現場における遠隔臨場の試行をスタートいたします。

- 水道工事では、職員が工事中の建設現場に出向き、さまざまな立会や確認を行っています。施工段階で職員による確認が必要となる「段階確認」、「材料確認」、「立会」を、建設現場と事務所をモバイル端末等でリアルタイムにつなぎ、遠隔で行います。
- 対象工事はすべての土木工事とし、受注者の希望に応じ、実施するかどうかを受発注者間で協議し決定します。
- これにより、現地確認等にかかる時間が削減され、生産性の向上が期待できます。
- 機器等については、受注者・発注者がそれぞれで準備します。
- 実施の確認として、受注者が遠隔臨場の状況写真を撮影し、監督職員に提出します。



〇〇工  
遠隔臨場状況（段階確認）  
確認者 〇〇氏

（黒板記載例）

- インセンティブとして、遠隔臨場が実施できた場合、工事成績評定にて加点します。